

平成 28 年度 PBPM 参加薬剤師用相互理解 DVD 上映アンケート報告書

日本臨床腫瘍薬学会主催のホップ・ステップ・ジャンプで進める がん治療の薬-薬連携セミナーにて、DVD 動画 「地域医療連携推進（薬薬連携）推進企画 病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解（業務紹介編、薬局編）」を上映し、参加者に対しアンケート調査を行った。

【アンケート結果】

セミナー参加者 東京会場 155名 大阪会場 98名 合計 253名

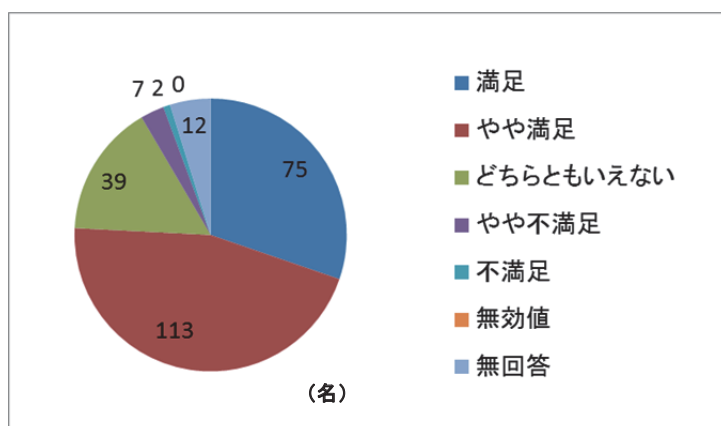
アンケート回収率 98%（248名／253名）

【回答者の背景】

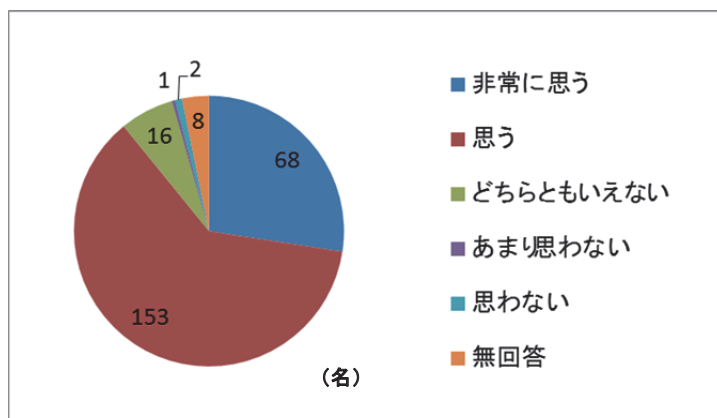
勤務先	名	%
病院・診療所	122	49%
保険薬局	113	46%
その他	8	3%
無回答	5	12%

年齢	名	%
20代	47	19%
30代	82	33%
40代	54	22%
50代以上	64	26%
無回答	1	0.4%

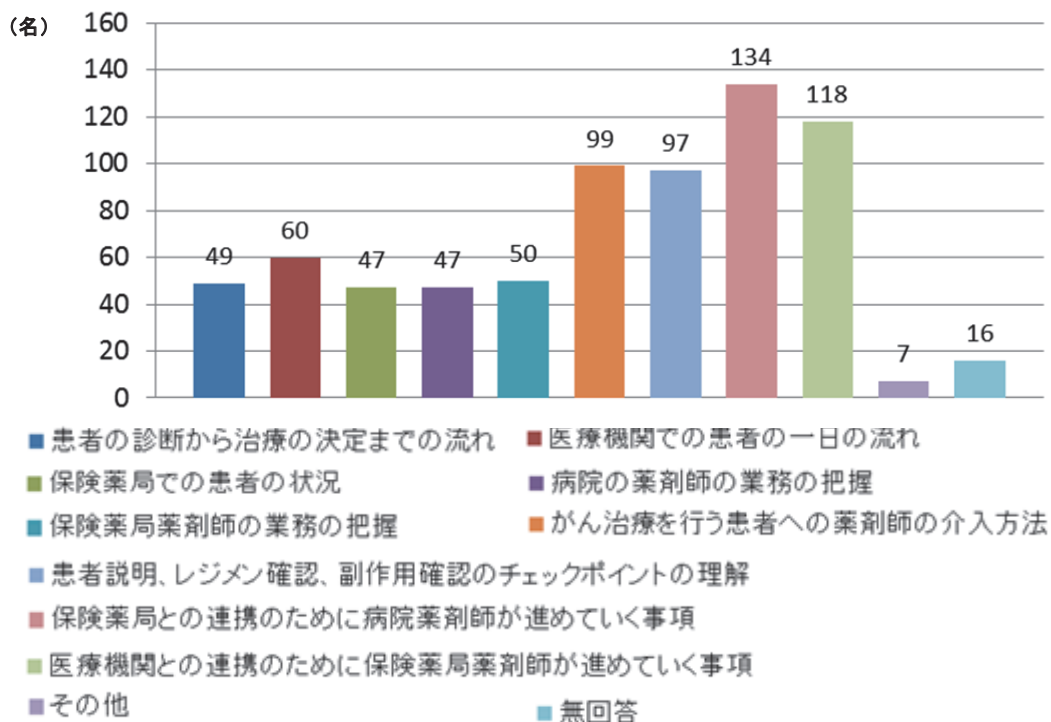
設問 1：DVD 動画の上映についての満足度を教えてください。



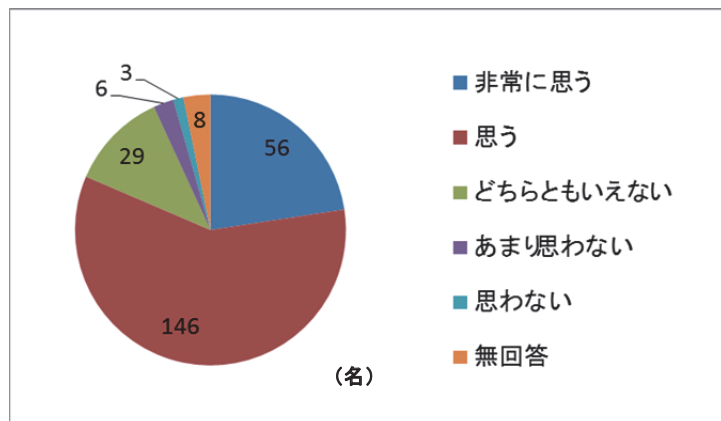
設問 2：DVD 動画を視聴して、医療機関と保険薬局との連携に必要な事項を理解する事が出来ましたか



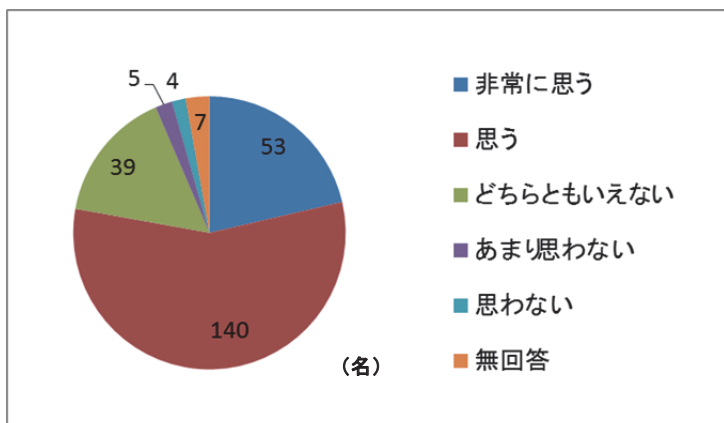
設問3：DVD 動画の内容の中で実際ががん治療に関わる場合に有用と感じた項目



設問4：DVD 動画は今後の医療機関との連携を行うためのきっかけになると感じますか。



設問5：DVD 動画の内容は、積極的ながん患者への対応につながると感じますか。



【考察】

アンケート調査の調査対象者は、病院薬剤師と保険薬局薬剤師が半数であり、両者の意見が反映された結果となった。全体的な評価として、DVD 動画の内容に対する満足度は高く、約 9 割が医療機関と保険薬局との連携に必要な事項を理解する事が出来たとの回答を得た。各論の評価としては、がん治療へ関わる場合に有用と感じた項目についての設問を設けた。その結果は薬剤師の介入方法や、患者説明、レジメン確認及び副作用確認のチェックポイントなど、患者の治療に関わる実践的な内容と、病院薬剤師と保険薬局薬剤師が実際に連携を進めて行くための事項が多かった。また、約 8 割以上が医療機関との連携のきっかけとなり、また、積極的な患者対応につながるとの回答を得る事が出来た。この DVD 動画は、PBPM 参加薬剤師用トレーニングプログラムの一環として作成されたものであるが、アンケート結果からも概ね目的が達成し得るものであると考える。

文責 松井 礼子